

平成 28 年度第 5 回 (一社) 日本生物物理学会理事会議事次第  
日時：2017 年 4 月 15 (土) 13:00~16:30  
場所：大阪大学産業科学研究所・インキュベーション棟 1 階講義室  
東京大学分子細胞生物学研究所本館 206 号室ほか (TV 会議)

出席者：理事総数 18 名 出席理事 16 名 (代表理事を含む)

代表理事 (会長) 中村 春木	理事 (副会長) 高橋 聡
理事 (副会長) 永井 健治	理事 石島 秋彦
理事 内橋 貴之	理事 大上 雅史
理事 小松崎 民樹	理事 佐藤 竜馬
理事 高田 彰二	理事 寺沢 宏明
理事 中井 孝尚	理事 根岸 瑠美
理事 野地 博行	理事 広瀬 恵子
理事 古谷 祐詞	理事 光武 亜代理

監事総数 2 名 出席監事 2 名

監事 片岡 幹雄  
監事 有坂 文雄

オブザーバー：

邦文誌編集委員長・中部支部長	神取 秀樹
欧文誌編集委員長	石渡 信一
ホームページ編集委員長	金城 玲
平成 29 年度年会実行委員長	山縣 ゆり子
平成 30 年度年会実行委員長	沈 建仁
平成 30 年度年会実行委員	山下 敦子
平成 29・30 年度理事候補	諏訪 牧子
平成 29・30 年度理事候補	西坂 崇之
平成 29・30 年度理事候補	林 重彦
平成 29・30 年度理事候補	原田 慶恵
平成 29・30 年度理事候補	坂内 博子
平成 29・30 年度理事候補	宮田 真人
平成 29・30 年度理事候補	渡邊 宙志

陪席者：

学会事務局 向井 牧子

議長：代表理事（会長） 中村 春木  
議事録作成者：理事 佐藤 竜馬  
理事 大上 雅史

**報告事項：**

1. 平成 28 年度年会報告 (中村)：報 1
  2. 平成 29 年度年会準備状況 (山縣)：報 2
  3. 平成 30 年度年会準備状況 (沈・山下)：報 3
  4. 平成 31 年度年会準備状況 (永井)：報 4
  5. 出版委員会報告 (永井)：報 5
  6. 広告について (石島・寺沢)：報 6
  7. 男女共同参画・若手支援委員会・男女共同参画学協会連絡会報告 (高橋)：報 7
  8. 啓蒙活動報告 (広瀬・根岸)：報 8
  9. 賞・助成金推薦委員会報告 (永井)：報 9
  10. IUPAB・ABA 関連報告 (野地)：報 10
  11. 滞納 3 年以上の会員への督促結果報告 (古谷・光武)：報 11
  12. NII-ELS データ J-STAGE への移行完了報告 (中村)：報 12
  13. 関東支部地区報告 (中村)：報 13
- その他

**審議事項：**

1. 平成 29 年度事業計画（案） (永井)：議 1
  2. 平成 29 年度予算（案） (寺沢)：議 2
  3. 出版委員会関連議題 (永井)：議 3
  4. 男女共同参画若手支援関連議題 (大上)：議 4
  5. 啓蒙活動関連議題 (広瀬・根岸)：議 5
  6. 平成 29・30 理事会体制案と監事候補の選出について (神取)：議 6
  7. 名誉会員候補の推薦について (中村・神取)：議 7
  8. 学術会議重点大型研究計画マスタープランの作業部会設立について (中村)：議 8
  9. 平成 29 年度総会シンポジウムについて (神取)：議 9
  10. 定時社員総会開催について (中村)：議 10
  11. 国際交流について (中村)：議 11
  12. 今後の TV 会議システムについて (中村)：資料なし
- その他

### 定足数の確認：

理事会の審議に先立ち、議長中村春木氏より、定足数のご報告があった。

理事総数 18 名のうち出席者 16 名により過半数を超えた。

### 定款第三十二条（決議）

理事会の決議は、決議について特別な利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

### 報告事項：

#### 1. 平成 28 年度年会報告（中村）資料：報 1

代理報告として中村 氏からつくば年会について報告があった。年会本体、懇親会、いずれも黒字であった。つくば年会についてはこれをもって最終の報告となる。

#### 2. 平成 29 年度年会準備状況（山縣）資料：報 2

山縣年会実行委員長から熊本年会の準備状況について報告があった。ランチョンセミナー、展示、広告について：10 箇所ぐらいが今回は出展見送りとなり、新規企業に声かけできるところはお協力をお願いしたい。シンポジウム（44 件）の割り振りについて：一般発表登録締切後、プログラム作成をもって割り振りを決定する。9 月 21 日は物理学会の物性と重なるので、シンポジウムのオーガナイザーにはアナウンスした。参加・演題登録システムにおいても物理学会に出席の有無を尋ねることになっている。非会員オーガナイザーの参加費、懇親会費の徴収について：本件については、本年会では言及しない。非会員には入会キャンペーンを実施している。ホテル予約とバスの増便について：地震の復旧・復興関係者に加え、9 月の観光シーズンで観光客も多いため、ホテルは早めに予約してほしい。朝の交通事情が問題。時刻表よりは倍ぐらいかかると考えておくほうがよい。バス会社も増便できるバスをたくさん持っているわけではない。バス会社、コンベンション協会と相談して進める。午前中の発表者には早めの出発を依頼する。本件については、アナウンスする。キャリア支援説明会（年会マター）について：アカリクに打診している。科研費説明会について：原田氏が担当する。JSPS に依頼する。企業意見交換会については、野地氏が担当する。

#### 3. 平成 30 年度年会準備状況（沈・山下）資料：報 3

沈年会実行委員長・山下年会実行委員から岡山年会の準備状況について報告があった。開催日程は 2018 年 9 月 15 日（土）－17 日（月・祝）、岡山大学津島キャンパス。年会実行委員と担当が決定した。シンポジウムの募集案を作成した（変更可能）。ポスター発表の場所が十分取れないので、口頭発表を増やすように考えている。ポスターは体育館を考えているが空調がない。大学会館は、空調があるが広さがない。要検討。学生発表賞を口頭発表に限定するのであればフラッシュトークはいらないため、その場合は日程表を変更することになる。

#### 4. 平成 31 年度年会準備状況（永井）資料：報 4

永井実行委員長から平成 31 年度年会の準備状況について報告があった。実行委員が決まった段階である。関大、近大でも BSJ 年会規模なら開催可能。日程は物理学会との関連があり未定。会場が空いている期間を仮押さえしている。他学会との共催：同じところにやる学会で物理学会があるが、分科会程度。応用物理学会であればイメージングなど重なるところも多い。ABA との共催：沖縄年会のとき ABA と共催した。ABA は 2020 年に共催になるかと思うが模索する。年会の予算について：予算が厳しく年会実行委員会の負担が大きいこと、年会は学会の一事業なので、予算として一割の赤字、黒字、と決めておくのが事業のあり方ではないか等の議論があった。

#### 5. 出版委員会報告（永井）資料：報 5

神取 氏より編集委員会について報告があった。新任委員として青木一洋 氏、栗栖源嗣 氏、角野 歩 氏、塚本寿夫 氏、細川千絵 氏、南野 徹 氏。理論計算が含まれていないため、林 重彦 氏が編集委員になる予定。編集委員の役割：会員からの一般投稿、編集委員からの提案記事、年会若手講演者への新進気鋭シリーズトピックスの執筆依頼、「BPPB」誌からの推薦。記事提案においては、編集委員と同じ研究室の候補者を推薦することは避けるべきであることを確認した。6 月 17 日から佐甲 氏が編集委員長となる。

石渡 氏より BPPB 誌について報告と提案があった。BPPB へ 1 月の段階で投稿が 0 件、現段階で 4 編しかなく、査読中が 3 編の計 7 編。国際化について：毎年 5 編ずつ増やしていくことで、年間 50 報を目指す。査読者 2 名のうち片方は海外の委員をいれる。日本にいる外国人は良いが、海外にいる日本人は海外の委員として扱われるのか（特に議論は行われていないが、外国人を想定していた）。引用数は 59%増加した。BPPB 小冊子を海外の研究者 24 名に 3 冊ずつ送付した。無料キャンペーンについて、総費用 100 万円程度使用し、キャンペーンが終了した。2017 年 5 月から再スタートするのか議論はしていない。BPPB 誌編集委員 Dr. Sungchul Hohng 氏と Dr. Jie Xiao 氏をアカウント登録した。Dr. Rabi Majumdar 氏、Kazuhiko Kinoshita Jr. 氏、Michiko Kasai 氏、Kunihiro Kuwajima 氏を削除した。PMC への登載現状報告 BIOPHYSICS Vol.1 (2005)–Vol.11 (2015)、Biophysics and Physicobiology Vol.12 (2015)–Vol.13 (2016)は全て公開済み。Vol.14 (2017)は、pp.23-28, pp.29-40 の 2 編は公開済み。Vol.14 (2017)では、pp.1-11, pp.13-22, pp.41-47, pp.49-55 は未公開（XML データの修正により訂正データを PMC に送信済み）。先日まで著者名検索で論文がヒットしないという問題があったが、現在では検索可能になっている。本件について今後改善していく。論文賞について、現在選考が進んでいる。今後は BPPB 誌のレビューを和文誌で掲載する。BPPB 論文賞規約について英訳をサイテック社に発注中。一般社団法人学術著作権協会から連絡があり電子的複製権の管理委託に関して、生物物理、BPPB 誌が該当し、委託するかを次回の理事会までに協議する。リポジトリ登録・著者ウェブサイトでの公開について学会ウェブサイトに記載されているポリシーと、学協会著作権ポリシーデータベース（SCPJ）の記載に齟齬があった。生物物理学会の公開を認めるフォーマットが著

者最終稿（出版社版でない）。学協会著作権ポリシーデータベース（SCPJ）は出版社版を利用可能。登録の可否について、出版社版で登録して良い旨を回答済である。

#### 6. 広告について（石島・寺沢）資料：報 6

石島 氏より広告について報告があった。菱化システム（現モルシス）が契約解除となり、広告収入が減少している。タスクフォース（新技術紹介）はどうなっているのか質問があった。2016年6月にメール配信を行い、一件応募があったが原稿は届いていない。執筆できそうな企業、研究者のリストを作成する。野地 氏が担当で進める。

#### 7. 男女共同参画・若手支援委員会・男女共同参画学協会連絡会報告（高橋）資料：報 7

佐藤 氏より男女共同参画学協会連絡会第15期第2回運営委員会について報告があった。次回の運営委員会は新理事が出席することになるため、高田新委員長が全体でどのぐらい会議があるか確認の後、割り振る。

#### 8. 啓蒙活動報告（広瀬・根岸）資料：報 8

根岸 氏より啓蒙活動について報告があった。「小中高校への講師派遣サポート事業」の講師は現在37名が登録。受け入れ学校は現時点ではまだない。チラシを印刷する（1,000部）、経費が2000円程度。一家に一枚ポスターを2017年2月に「女子中高生のための関西科学塾」へ90枚提供した。3月と4月に1件ずつ一般から質問が届いた。1件目は有坂 氏から回答いただいた。回答については、二次利用される可能性も考え今後の対応について検討していく。

#### 9. 賞・助成金推薦委員会報告（永井）資料：報 9

永井 氏より賞・助成金推薦委員会について報告があった。豊田正嗣 氏（名古屋大）が平成29年度科学技術分野の文部科学大臣若手科学者賞を受賞した。2017年度山田科学振興財団研究援助に昆 隆英氏（阪大）を推薦した。第14回江崎玲於奈賞に野地博行氏（東大）と原田慶恵氏（阪大）を推薦した。第14回日本学術振興会賞に坂内博子氏（理研）を推薦した。

#### 10. IUPAB・ABA 関連報告（野地）資料：報 10

野地 氏より IUPAB・ABA 関連について報告があった。IUPAB2023 招致について：スケジュールは、昨年12月31日に立候補、5月1日に Bid Paper 締切、7月17日ごろに Japan Night、7月18日にプレゼン・開催国決定。日本を含め7カ国から立候補がある。独自の若手支援プログラムの安藤先生、柳田先生、永井先生に講演を依頼して快諾いただいた。教育の面で、日本の生物物理のスケールの大きさ、レベルが高いことをアピールする。今後学生の数の減少を考え、大学や研究所は海外からの若手を日本に呼ぶ必要があるため、ホスト側にもメリットがあることをアピールする。海外からの参加者の旅費を補助できないか検討。educational プログラムの対象は、この会議に参加している大学院生であるが、PD まで含めて良いと考えている。日豪シン

ポジウムについて：今年は、シドニーで行われる大会に日本から参加する。日豪のシンポジウムは長く続いており歴史がある。成瀬氏、林久美子氏が **invited speaker** として登壇予定。韓国、中国とのジョイントシンポジウムについて：昨年はつくば年会に招待した。今年は日本から行きたい旨、中国のヤン 氏に中村 氏が相談中。招待したいと返信があった。韓国からも話が来ている。10月ソウルで、一分子計測関連の学会を予定している。アジアの **Council member** に対するサポート依頼の一環でもあるため、積極的に行う。

#### 11. 滞納3年以上の会員への督促結果報告（古谷・光武）資料：報11

古谷 氏より滞納3年以上の会員への督促結果について報告があった。前回理事会で確認された除籍候補者に督促メールを出した結果、4月6日現在正会員2名が会費を全額納入、正会員2名が3年分の会費を納入、海外正会員1名が2年分の会費を納入し、正会員3名が退会した。

#### 12. NII-ELS データ J-STAGE への移行完了報告（中村）資料：報12

中村 氏より NII-ELS データ J-STAGE への移行について報告があった。NII-ELS 事業終了にともない CiNii から J-Stage に移行されたデータを、2017年5月1日に公開する予定。

#### 13. 関東支部地区報告（中村）資料：報13

代理報告として中村 氏から関東支部の2016年度決算について報告があった。計算報告、監査の証明書が関東支部より提出された。関東支部の2017年の支部長は由良 敬氏が就任した。

その他

特になし。

#### 審議事項：

##### 1. 平成29年度事業計画（案）（永井）資料：議1

永井 氏より平成29年度事業計画（案）について議題が提出された。学術・科学技術に関する・・・に「2020第58回日本生物物理学会年会の開催地の決定および実行委員長の選任」を追加。第55回年会の市民公開講座の会場が「くまもと県民会館パレヤ」に変更になった。研究業績・・・に「若手招待講演賞」を追加。国際的な研究協力の推進に「20th IBC (2020)リオデジャネイロ開催支援」、「中国・韓国・オーストラリアの生物物理学会との協力」、「インドおよび台湾との共同シンポジウム開催」を追加。普及啓蒙活動に、「小中高を対象としたセミナー講師派遣」、「生物物理の教科書作成の検討」を追加。理事会、総会、委員会等に「出版委員会5回（6月、9月、12月、2月、4月）」、「Biophysics and Physicobiology 編集委員会2回（9月、12月を予定）」、「ホームページ編集委員会1回（9月予定）」を追加。関連学術団体との連携及び協力に、「2）光生物学協会への参加」を追加。

## 2. 平成 29 年度予算（案）（寺沢）資料：議 2

寺沢 氏より平成 29 年度事業計画（案）について議題が提出された。28 年度予算収益計と 29 年度予算収益計ほぼ同じ。社員総会で確定するため、気づいた点があれば連絡をいただくこととした。

## 3. 出版委員会関連議題（永井）資料：議 3

永井 氏より出版委員会関連議題が提出された電子的複製権についてはメール審議を行う。インターネットにおける著作権所有文書の公開規定について、学会ウェブサイトでは公開可能なフォーマットを著者最終稿としているが、これを学協会著作権ポリシーデータベース（SCPJ）と統一し出版社版に修正することが承認された。

## 4. 男女共同参画若手支援関連議題

大上 氏より生物物理若手の会第 57 回夏の学校への支援について議題が提出された例年行っている夏の学校への支援 20 万円について、支援が承認された。

## 5. 啓蒙活動関連議題（広瀬・根岸）資料：議 5

根岸 氏より啓蒙活動関連議題が提出された「小中高へのセミナー講師派遣サポート事業」チラシの配布について議論があった。SSH 指定校、高専に送付する。私立で独自の教育を行っている学校もあるので、提案があれば啓蒙担当理事に推薦する。理事は自分の卒業校に配布する。それぞれの研究機関、大学で必要があれば事務局に連絡する。オープンキャンパスの際に配布する。英語対応について：講師への応募用紙に英語での講演の可・不可を尋ねる項目を追加する。すでに登録済の講師については、具体的なリクエストがあった時点でケース・バイ・ケースで対応する。

## 6. 平成 29・30 理事会体制案と監事候補の選出について（神取）資料：議 6

神取 氏より平成 29・30 理事会体制案と監事候補について議題が提出された監事候補として、木寺詔紀 氏、七田芳則 氏に打診し内諾を得ている。平成 29・30 理事会体制案と監事候補について、承認された。

## 7. 名誉会員候補の推薦について（中村・神取）資料：議 7

中村 氏より名誉会員候補の推薦について議題が提出された 6 月の理事会において決定となる。名誉会員候補の推薦があれば次回までに推薦する。

## 8. 学術会議重点大型研究計画マスタープランの作業部会設立について（中村）資料：議 8

中村 氏より学術会議重点大型研究計画マスタープランの作業部会設立について議題が提出された学術会議重点大型研究計画マスタープランが採択された。実際に予算がつくかどうかは

ここから。設立の主導は学会である。作業部会の具体的な活動内容について、6月にヒアリングが行われ、どのくらい具体性があるか、学会が動いているか問われることになる。ヒアリングのための発表の具体化が必要。他学会と、より広い地域をカバーするため、西坂氏（学習院大、物理学会）小松崎氏（北大）、安永氏（九工大）を3氏を作業部会委員に加えることとした。原田慶恵氏はロードマップ2017への掲載者でないことが指摘され確認された。

#### 9. 平成29年度総会シンポジウムについて（神取）資料：議9

神取氏より平成29年度総会シンポジウムについて説明があったこの時点では誘致が成功しているかどうか不明なので、シンポジウムでのタイトルは、リオデジャネイロ大会やエジンバラ大会の紹介に変更できるようにすることとした。講演者には、永山氏、野地氏、IUPABに参加した学生を予定している。

#### 10. 定時社員総会開催について（中村）資料：議10

中村氏より平成29年度定時社員総会が平成29年6月24日（土）13:00～14:00、新大阪丸ビル別館405号室において開催される旨、説明があった。印鑑登録をした印鑑が必要。社員総会ののち理事会を開催する。

#### 11. 国際交流について（中村）資料：議11

中村氏より国際交流について説明があった。台湾：前会長、現会長を講演者として年會に招待する予定。構造生物学をテーマとする6名（3名が台湾、3名が日本）の講演者が決定済み。オーガナイザーは山本氏（理研）。台湾からの招待講演者の参加費・懇親会費を無料とし、宿泊費、国内交通費は学会負担とする。インド：金城氏、バスター氏がオーガナイザー。バイオインフォマティクスをテーマとする6名（3名がインド、3名が日本）の講演者が決定済み。場所、日時は熊本年会委員会に任せる。インド生物物理学会の前会長より3名を紹介いただいた。現会長も了解済み。

#### 12. 今後のTV会議システムについて（中村）資料：なし

中村氏より今後のTV会議システムについて議題が提出された。旅費の節約を続けていきたい。現在は産研が契約しているシステム（Lifesize Cloud 年間使用料45万円）を利用させていただいている。中西印刷で契約ができるかどうか確認。Lifesize Cloudから、ポリコムはサポートしなくなるかもしれないとの情報があり、その確認と対応策を考える必要である。

その他  
特になし。

連絡事項：

1. 次回理事会日程について（中村）

平成 29 年度第 1 回理事会

日時：2017 年 6 月 24 日 14:00～17:00

場所：新大阪丸ビル別館 405 号室

平成 29 年度第 1 回男女共同参画・若手支援委員会 11:00～12:00

平成 29 年度第 1 回出版委員会 11:00～12:00

平成 29 年度定時社員総会 13:00～14:00

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 16:30 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成 29 年 5 月 26 日

一般社団法人	日本生物物理学会	平成 28 年度第 5 回理事会
代表理事	中 村 春 木 (印)	
監事	片 岡 幹 雄 (印)	
監事	有 坂 文 雄 (印)	